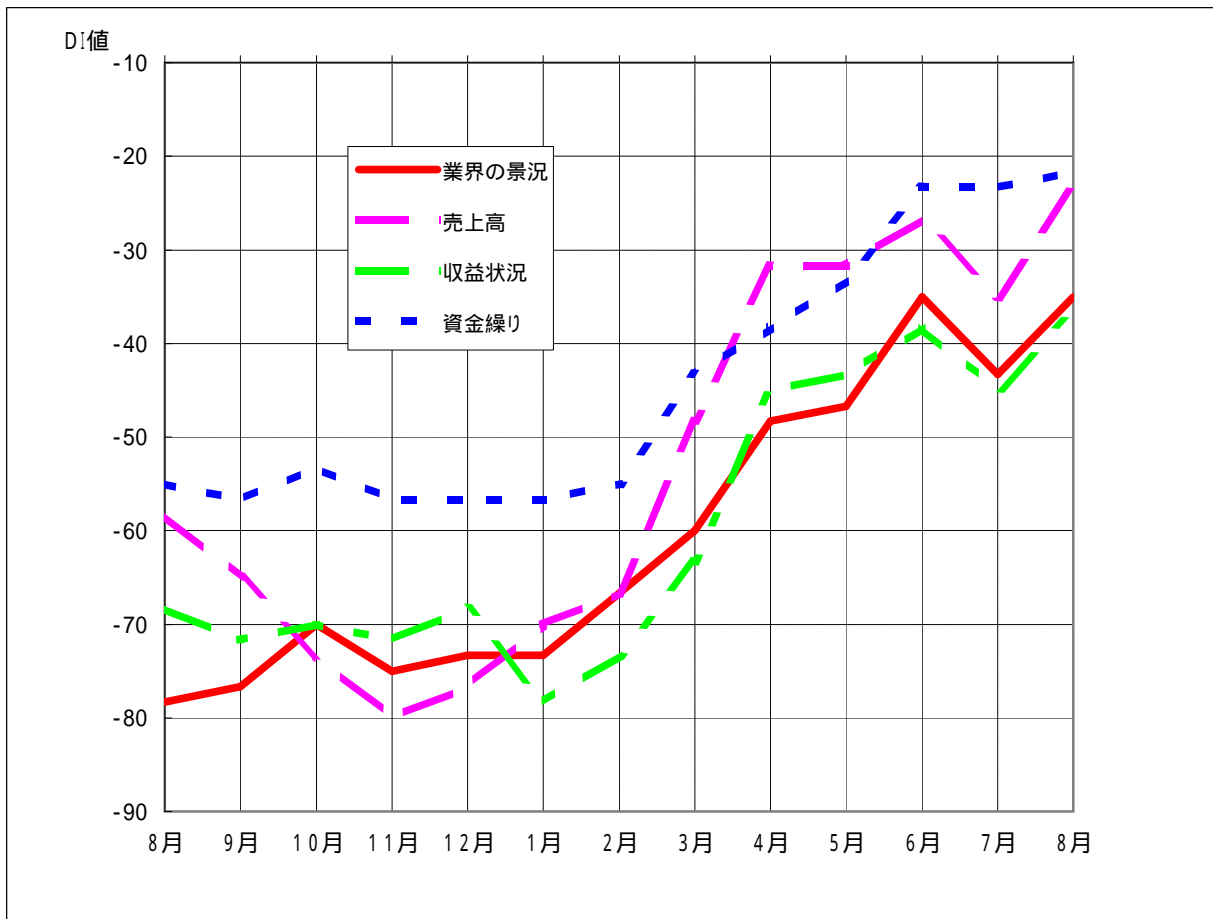


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成21年8月～平成22年8月

単位:ポイント



	H21					H22							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
業界の景況	-78.3	-76.7	-70.0	-75.0	-73.3	-73.3	-66.7	-60.0	-48.3	-46.7	-35.0	-43.3	-35.0
売上高	-58.3	-65.0	-73.3	-80.0	-76.7	-70.0	-66.7	-48.3	-31.7	-31.7	-26.7	-35.0	-23.3
収益状況	-68.3	-71.7	-70.0	-71.7	-68.3	-78.3	-73.3	-63.3	-45.0	-43.3	-38.3	-45.0	-36.7
資金繰り	-55.0	-56.7	-53.3	-56.7	-56.7	-56.7	-55.0	-43.3	-38.3	-33.3	-23.3	-23.3	-21.7

8月のDI値は前年同月に比べ、全項目が7ヶ月続けて改善した。「業界の景況」DI値は43.3ポイント、「売上高」DI値は35ポイント、「収益状況」DI値は31.6ポイント、「資金繰り」DI値は33.3ポイントとそれぞれ改善した。前月比で見ると、7月に悪化したDI値が6月分を上回る回復を見せた。業種を問わず単価の下落傾向が強まり、収益環境を圧迫している。受注量も減少傾向にある業種が多い。また、急速な円高といった緊迫した事態の発生により、景況の先行き不透明感が一層増すなど、なお厳しい状況が続いている。

組合の特記事項からは、作業工具・機械器具製造業などで円高により受注量が減少したという声が、菓子製造業、商店街などでは猛暑の影響で消費量が減少したという声があった。また、新たに行政による内需拡大策、ものづくり支援策など早期の経済対策を望む声が寄せられた。